



ブルーム・セントメアリーズカレッジ訪問時記念写真

目次

トピックス	2	住民福祉課便り	6
姉妹都市ブルームコーナー	4	くじらの博物館便り	8
お知らせ	5	保健衛生関係行事予定	10

～三軒町長4期目始動！～

平成28年8月7日任期満了における太地町長選挙を7月17日（日）に執行しました。

当日有権者数は、男1,291人、女1,590人の計2,881人、投票者数は男946人、女1,217人の計2,163人、投票率は、75.08%でした。候補者の得票数は、三軒一高氏が1,697票、三好晴之氏が448票で現職の三軒氏が4回目の当選を果たしました。

8月8日から4期目が始動し、「今後、道の駅たいじの整備、こども園・小学校・役場等公共施設の高台移転、町道及び防災複合施設を兼ねた駅舎の改修等を進め、就任当初、太地町を理想のまちとすべく思い描いた30年計画をより現実的なものとするため努力を重ねていく。」と意気込みを述べられました。



山路選挙管理委員会委員長より
当選証書の附与を受ける三軒町長

～ご長寿お祝い申し上げます！～

9月1日現在で、町内在住の80歳以上の方々は523名です。

年代別にしますと、100歳代が男性1名、女性1名、90歳代が男性26名、女性85名、80歳代が男性139名、女性271名となっています。ご長寿おめでとうございます。

～白馬北小学校の皆さんようこそ太地町へ～

7月20日（水）から3日間、白馬北小学校の5年生の皆さんが太地町に滞在されました。21日は、太地町公民館で交流会が行われ、太地小学校の児童により歓迎の意を込めて「いさな太鼓」が披露されました。また、両校児童の合同で、「空も飛べるはず」、「友よ～この先もずっと」を合唱し、素晴らしい歌声を聴かせてくれました。交流会終了後は、観光船に乗って紀の松島めぐりをし、太地町立くじらの博物館でイルカショー等を見学しました。

午後からは、磯で泳いだり、貝や魚を獲ったりして楽しんでいました。中には、竹の釣竿で、大きな魚を釣った子もいました。



交流会の様子



磯遊び

～消防団退団者感謝状贈呈式を行いました～

7月19日（火）、役場において、長年消防で活躍された方々に町長から感謝状を贈呈しました。

長年にわたり消防団員として町のためにご尽力いただき、誠にありがとうございました。

今回感謝状を贈呈した方々は次のとおりです。上中克則さん、寺西敏次さん、三好通弘さんの3名です。

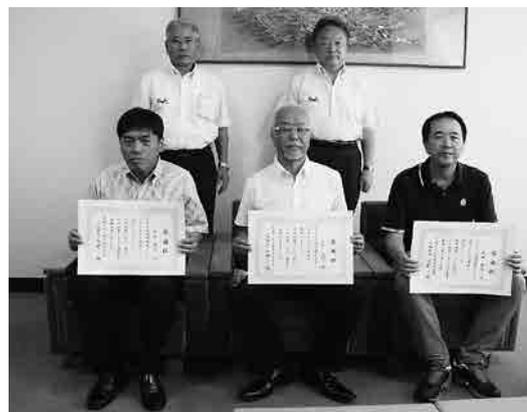


写真 左から 三好通弘さん
上中克則さん、寺西敏次さん

～消防特殊車両を購入しました～

この度、消防特殊車両を購入しました。この車は、太地町消防団第5分団に配備し、延焼防止及び円滑な消火活動を行うための補助等に活用されます。



今回購入した消防特殊車両



山下消防団長と第5分団の皆さん

～「太地の風 明日を想って」の楽譜を寄贈していただきました～

この度、山門明子さんが作詞し、関口和子さん・橋由美子さんが作曲した「太地の風 明日を想って」の楽譜を寄贈していただきました。

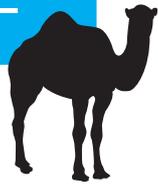
この曲は、暮らしの中から消えつつある太地弁が、少しでも永く残るように、小さな町の人々の結びつきが受け継がれるようにと想いを込めて作曲されました。



今回楽譜を寄贈していただいた
山門明子さんと関口和子さん

THE PEARLS

姉妹都市ブルームのコーナー



ブルーム訪問記～前編～

今年も8月1日から8月11日にかけて、太地中学校の生徒6名が姉妹都市ブルームとパースを訪問しました。訪問の様子を2回に分けてご紹介します！9月9日(金)には生徒たちによる報告会を開催しますので、皆様お誘いあわせの上お越しください。

愛甲優華さん、生熊沙葵さん、太田萌さん、大畑唯さん、山本海優さん、法花晴香さんの6名と引率4名は関西国際空港を出発し、シンガポール、パースを経由してブルームに到着しました。ブルーム1日目:到着後、昼食を済ませ、ホームステイ先へ・・・2日目:セント・メアリーズ・カレッジで全校集会に参加した後、授業へ参加し、現地の生徒達と芸術やスポーツを通じた交流を図りました。夕方にはケーブルビーチでラクダに乗りました。3日目:真珠養殖場を見学し、夜は役場の歓迎会に参加しました。4日目:幼稚園と小学校(初等部)の授業を見学しました。午後からは、リオオリンピック開催に際し、オリンピックの開会式を模したセレモニーを行いました。太地町派遣団は日本代表として参加しました。

今月はブルーム訪問記前編を掲載しました。派遣団の旅はまだまだ続きます。続きは次号へ掲載しますので、楽しみに！



バレーボールの授業に参加した生徒たち



ケーブルビーチでラクダに乗りました



ブルーム町役場での歓迎会の様子



オリンピックセレモニーの様子

We Love
Broome!
We Love
Taiji!

お知らせ

太地いきいき
情報コーナー

社会生活基本調査のお知らせ

総務省統計局（和歌山県）では、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。この調査は、生活時間の配分や自由時間における主な活動を調査し、社会生活の実態を明らかにするために行います。

なお、今回よりインターネット回答が可能となりました。9月及び10月に、調査員が対象地区のお宅に伺いますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

調査についてのお問合せは、和歌山県調査統計課（073-441-2388）もしくは太地町総務課統計係（59-2335）までご連絡ください。

平成 28 年度県民相談・交通事故相談

[移動県民相談（無料弁護士相談）]
交通事故相談も含む。

日時 平成 28 年 9 月 21 日 13 時から
場所 東牟婁振興局

- 電話予約制：定員 10 名
- 予約受付：9月7日～9月21日 14 時まで定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 法律問題については、弁護士が回答いたします。

ひきこもり家族教室

日時：平成 28 年 9 月 14 日（水）

13 時 30 分～15 時 30 分まで

内容：13 時 30 分～14 時 30 分

講演「家族の思いに向き合って」

講師 和歌山県精神保健福祉センター職員

14 時 30 分～15 時 30 分 交流会

場所：東牟婁振興局地下第 3 会議室

定員：20 名

対象：ひきこもりの問題に関心のある方（家族当事者、支援者）

問い合わせ・申込み：和歌山県精神保健福祉センター

TEL：073-435-5194 FAX：073-435-5193

市町村振興宝くじ 2016
秋の夢を掘り当てよう！
ご購入は、和歌山県内の売り場で！
オータムジャンボ 5 億円
オータムジャンボ
1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円
9月26日(月)発売
発売期間：9/26(月)～10/14(金)
抽せん日：10/21(金)
この宝くじの収益金は明るく住みよいまちづくりに使われます。
公益財団法人 和歌山県市町村振興協会

「全国一斉！法務局休日相談所」の開設について

法務局では、行政サービスの一環として、平成 28 年 10 月 2 日（日）全国一斉に休日相談所を開設します。

和歌山地方法務局におきましても、下記のとおり休日相談所を開設し、法務局職員に加え、公証人等が相談をお受けいたします。

相談は無料で、秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

なお、相談希望の方は、平成 28 年 9 月 20 日（火）から予約を受け付けます。当日は、予約の方を優先とさせていただきますので、あらかじめ御了承願います。

記

- 1 開設日：平成 28 年 10 月 2 日（日）
- 2 開設場所・時間：和歌山市二番丁 2 番地（和歌山地方合同庁舎）
和歌山地方法務局 午前 10 時から午後 4 時まで（受付 午前 10 時から午後 3 時 30 分まで）
- 3 相談内容
 - (1) 土地・建物の売買や相続、土地の分筆、建物の新築及び会社の設立などの各種登記、筆界（境界）の特定、地代・家賃などの各種供託
近隣関係やいじめなどの人権問題等については、法務局職員、司法書士、土地家屋調査士及び人権擁護委員が相談に応じます。
 - (2) 遺言書の作成や任意後見契約等については、公証人が相談に応じます。
- 4 電話相談

当日、休日相談所にお越しいただけない方のために、電話による相談もお受けいたします。電話番号は、「073-422-5132」で、当日の午前 10 時から午後 4 時までの対応となります。

住民福祉課便り

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種は お済になりましたか？

平成26年10月より定期予防接種となり、平成26年度から平成30年度までは経過措置として接種日の属する年度内に各65、70、75、80、85、90、95、100歳の方に順次案内を送付します。平成31年度からの高齢者用肺炎球菌ワクチンは、65歳の方が対象となる予定です。現時点では、定期予防接種を受ける機会は、平成30年度までの該当する年齢となる年度のみとなります。該当する年度以外での接種は、全額自己負担となります。早期に肺炎予防をお考えの方は、この機会に接種をご検討ください。

1 対象者

①平成28年度の接種対象者は以下の年齢で、このワクチンを初めて接種する方となります。

65歳	昭和26年4月2日 ~ 昭和27年4月1日生まれ
70歳	昭和21年4月2日 ~ 昭和22年4月1日生まれ
75歳	昭和16年4月2日 ~ 昭和17年4月1日生まれ
80歳	昭和11年4月2日 ~ 昭和12年4月1日生まれ
85歳	昭和6年4月2日 ~ 昭和7年4月1日生まれ
90歳	昭和元年4月2日 ~ 昭和2年4月1日生まれ
95歳	大正10年4月2日 ~ 大正11年4月1日生まれ
100歳	大正5年4月2日 ~ 大正6年4月1日生まれ

②接種日において60歳以上65歳未満の方であって、心臓、腎臓、呼吸器機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能のいずれかに障害があり、身体障害者1級程度の者

※上記に該当する方で接種を希望される方は役場住民福祉課へお申し込みください。

2 予防接種の時期

平成29年3月31日まで

3 予防接種料

自己負担 2,000円（接種時に医療機関へお支払い下さい）

※ただし、生活保護世帯の方は無料



高齢者用肺炎球菌ワクチンとは…

肺炎球菌とは、肺炎で一番多い原因菌です。日本人の死亡原因は、1位がん、2位心疾患に次いで、肺炎が第3位です。肺炎には発熱による悪寒、咳、痰、呼吸時の胸の痛み、息切れや倦怠感などさまざまな症状がありますが、症状に気づかないうちに進行していることも多くあります。特に高齢者や免疫不全の方は重症化しやすく、肺炎で亡くなる95%以上が65歳以上の方です。

この高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種により、肺炎球菌による肺炎の7割に効果があると言われています。ただし、高齢者用肺炎球菌ワクチンは、肺炎のすべてを予防するワクチンではありませんが、接種することによって、重症化予防などの効果が期待されます。

～後期高齢者医療制度に加入されているみなさまへ～

ジェネリック医薬品の使用促進のお知らせを送付しています

8月下旬から9月上旬にかけ、ジェネリック医薬品を使用した場合、1か月の自己負担額が200円以上軽減される可能性がある方を対象に、ジェネリック医薬品使用促進のお知らせを送付しています。

患者負担の軽減や医療保険財政の改善には、ジェネリック医薬品の普及が重要です。この機会に、ジェネリック医薬品の使用をご検討ください。

- ◆このお知らせは、現在処方を受けているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担額が軽減できることをお伝えするもので、切り替えを強制するものではありません。
- ◆お薬によっては、ジェネリック医薬品への切り替えができない場合もあります。切り替えを希望される方は、かかりつけの医師または薬剤師にご相談ください。



【お問い合わせ先】

後発医薬品利用差額通知コールセンター
フリーダイヤル 0120-53-0006

和歌山県後期高齢者医療広域連合
和歌山市吹上2丁目1番22号 日赤会館9階
☎ 073-428-6688

未来につなぐ相続登記 ～次世代の子どもたちのために～ 「相続登記」は、お済みですか？

相続登記を放っておくと・・・

- ◆相続した不動産をすぐに売却できない。
- ◆用地買収の話がきて、兄弟間で争いになった。
- ◆相続登記を何世代にもわたって放っておくと、相続人の数が増えて、その確認に相当な時間と労力を要する。

こうしたトラブルを未然に防ぐためにも、早めの相続登記をお勧めします。



【相続登記に関するお問い合わせ先】

和歌山地方法務局 ☎ 073-422-5131 (代表)
和歌山県司法書士会 ☎ 073-422-0568 (無料相談会実施中)
和歌山県土地家屋調査士会 ☎ 073-421-1311

集会所の利用について

各集会所※では、午前9時から午後5時までの間、高齢者の方の熱中症対策として、9月末まで、エアコンをつけています。ヘルストロン、マッサージチェア、テレビ等完備しておりますので、お気軽にご利用いただきますよう、お知らせいたします。

※各集会所…東新集会所
平見集会所
寄水集会所
森浦集会所

秋も食中毒に注意しましょう

食中毒の多い季節は夏だけではなくありません。厚生労働省の調べによると、近年は9～10月の秋に食中毒の発生が目立っています。行楽シーズンにより、野外でお弁当などを食べる機会が多いことも原因のひとつと考えられています。



【食中毒予防の三原則】

- ◆**菌をつけない！**… 調理前後の手洗いはもちろん、調理中もこまめな手洗いの他、生肉・生魚の取り扱い時は調理器具をしっかりと洗いましょう。
- ◆**菌を増やさない！**… 生鮮食品や残った料理は早く冷蔵庫に保管しましょう。野外へお弁当を持っていく時はクーラーボックス等も活用しましょう。
- ◆**菌をやっつける！**… お肉などは内部まで火を通しましょう。温め直す時もしっかりと加熱しましょう。調理器具はしっかりと洗い、定期的に消毒しましょう。



ブルームの日本人病院とアイリッシュの修道女

The Broome Japanese Hospital and the Irish Sisters

西オーストラリア州ブルームに、1910年から十数年間だけ存在した日本人病院のことは、オーストラリア国内でもあまり知られていないそうです。この病院に関する論文を昨年執筆したクイーンズランド大学医学部のストライド教授によると、この病院に関する情報は、当時ブルームで読まれていた新聞2紙に掲載された記事に依るものがほとんどです。

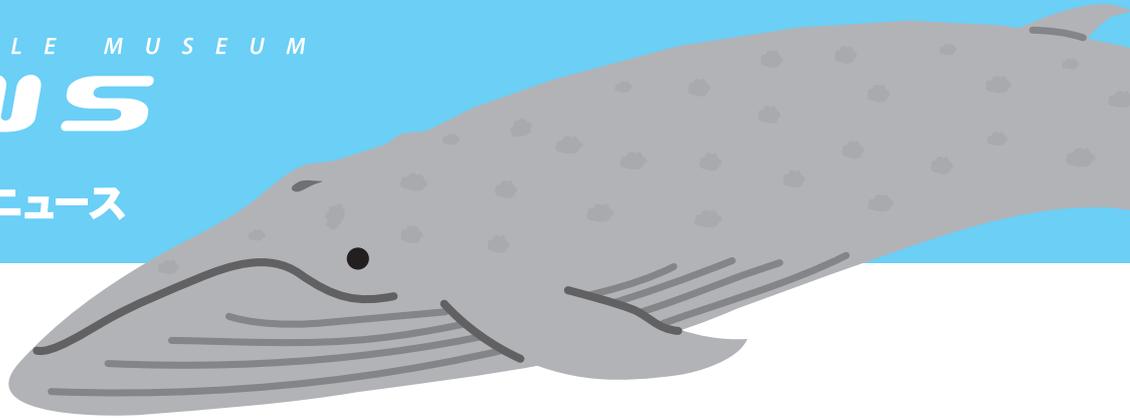
この病院がジャパニーズ・ホスピタルと呼ばれていた理由は、それが実質的に日本人によって経営されていたからです。ただし看護師だけは、1908年にブルームにやって来たアイルランド出身の修道女たちでした。

セント・ジョン・オブ・ゴッド修道女会に属する彼女たちは、まずビーグル・ベイに赴任しましたが、翌年には100キロ以上離れたブルームに移り、そこで自立した生活を始めました。彼女たちが地域住民に布施を請うたとき、真っ先に応じたのが日本人たちだったのです。日本人大工たちが建てた家を拠点にして宗教活動をはじめた彼女たちは、求めに応じて間もなく日本人たちに英語を教えるようになり、また彼らの子供たちに学を授けました。この教育活動が1911年のセント・メアリー学園の創設に繋がりました。

当時のオーストラリアはまだ白人優越主義の社会だったので、日本人たちは真珠産業において活躍していたにもかかわらず、白人が開設した病院で医療行為を受けることはできませんでした。そこで西豪州ブルーム日本人会は、京都帝国大学医学部の鈴木正医師を招聘しました。日本人だけで病院を経営することができないと判明すると、すでに信頼関係を築いていた修道女たちに、看護師として病院経営に加わることを頼み、同意を得たので、当局も病院の発足を許可しました。

病院は1928年に閉鎖され、その活動実態の詳細はよく分かりません。しかし日本人と修道女たちの間に生まれた深い信頼を象徴する記念碑がカトリック墓地に残っています。若き修道女イマキュレート・リーヒー氏は、日本人病院で働くうちに腸チフスに感染し、1912年に亡くなりました。彼女の尽力に対して感謝の意を表するために、日本人会は、ケルト様式の大きな大理石の十字架を彼女のお墓の傍らに建立しました。

今年も太地からブルームを訪ねた6名の中学生は、セント・ジョン・オブ・ゴッド教会で歴史の講義を受け、リーヒー氏の記念碑をお参りました。2008年に始まったセント・メアリー学園生徒と太地の中学生の交流事業は、来年で10周年を迎えます。



「くじらのふしぎ大発見！展」開催中！

くじらの博物館では、7月28日(木)より特別展「くじらのふしぎ大発見！展」を開催しています。夏休み開催ということもあり、連日多くの家族連れの方で会場はにぎわっています。すでに足を運んでくださった方もいらっしゃるかもしれませんが、今回は特別展の魅力 皆さんにご紹介したいと思います。

今回の特別展では、タイトルにもあるように皆さんが常日頃胸に抱えているクジラに関する「なぜ?」「なに?」にスポットをあてました。そして、疑問に思っていたことが「そーなんだ!」という発見に変わる喜びを皆さんに感じて頂きたいと思い、展示を企画しました。



今回の特別展で紹介した「ふしぎ」は次の5つ。①世界中にクジラは何種類いるの?、②クジラは魚の仲間なの?、③オスとメスはどちらがう?、④クジラは1日にどのくらい食べるの?、⑤クジラの出す音ってどんな音?、いずれも当館を訪れるお客さんからよく質問される「ふしぎ」ばかりです。

特徴的な展示をいくつか紹介しましょう。クジラの種類を紹介した展示では、クジラの形をしたかわいらしい引き出しの中に、世界の様々なところにすんでいるクジラの仲間たちを説明文と一緒にいれました。クジラは歯のあるクジラ、ハクジラとヒゲをもつクジラヒゲクジラにわけることができること、ハクジラの方が種類が多いこと、世界にはたくさんの種類のクジラがいて、大きさや色や形も様々であることを視覚的にお伝えできるよう工夫しています。クジラがほ乳類であることを伝える展示では、イルカの親子のぬいぐるみが大活躍。お客さん自身におっぱいの場所を探して頂くのですが、おっぱいが予想外のところにあることに皆さん驚きの声をあげておられます。正しいおっぱいの場所が見つめられると、赤ちゃんイルカがおっぱいに吸い付いてくれるので、皆さんもぜひ探してみてください。クジラの1日のエサの量を紹介する展示では、展示室の天井につきそうなほど高くそびえるオキアミの入ったトロ箱のタワーが出現。実はこれ、ミンククジラの1日に食べるエサの量を表したものです。展示室では、その一部の重さを持ち上げて体感することもできます。体力に自信のある方はぜひ挑戦してみてください。この他にもクジラが出している音を実際に聞けたり、本物のサメ皮に触ることができたり、「みる・きく・ふれる」といった五感を使う展示がたくさんあります。

今回の特別展は、家族で対話しながら楽しく学ぶことのできる展示を目指して企画しました。「みる・きく・ふれる」五感を使った体験に正解も間違いありません。それぞれが感じた感動や気持ちを素直に言葉にして話してみてください。自分はどう感じるけど他の人はこう感じるんだと、学びの範囲を一気に広げることができると思います。「知る喜びを共感する」、ぜひこの素敵な博物館体験をぜひ本特別展で味わってください。

◆特別展開催期間:2016年7月28日(木)~2017年7月14日(金)予定

《保健衛生関係 9 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時 間	場 所
9月15日(木)	ちびっ子ひろば	9:30～11:00	ふれあいルーム
9月29日(木)	ちびっ子ひろば	9:30～11:00	ふれあいルーム

健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
9月7日(水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
9月8日(木)	成人健康相談(血圧測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		13:45～14:15	老人憩の家
		14:30～15:00	寄水集会所
9月26日(月)	成人健康相談(血圧測定)	15:00～15:30	森浦集会所

健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
9月5日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
9月26日(月)			
9月12日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	森浦集会所
9月26日(月)			

健診

月 日	事業名	時 間	場 所
9月1日(木)	10か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
9月29日(木)	4か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター

—白馬からお便り— 【姉妹都市「白馬村」コーナー】



第19回白馬スノーハープロス カントリイ大会

7月25・26日に第19回白馬スノーハープロスカントリイ大会が開催されました。女子マラソンの野尻あずさ選手、地元白馬村出身の成瀬野生さんらのゲストの皆さんと共に約2,400人の選手たちが白馬の自然を感じながらコースを走り抜けました。

住民基本台帳
(平成28年7月末日現在)
総人口 3,278人
男 1,484人
女 1,794人
世帯数 1,639世帯
(前月比: 総人口 **3人増**
世帯数 **2世帯増**)

太地大運動会 (小学校・幼保・町民合同運動会)

☆ 平成28年10月2日(日) ※雨天順延
太地小学校グラウンド